

埼玉県民の森『春の自然観察会』実施報告

日 時：2024年4月21日（日）

天 候：くもり

参加者：22名（うち会員及びスタッフ数名含む）。
2班編成（*歩き出しで自然とうまく分
れました）

講 師：河野 満、渡辺英城

報告者：渡辺英城

<今回のコース>

10:00 集合・オリエンテーション

展示館前東屋出発 山頂展望台～林道経由 落葉広葉樹林散策

12:20～13:00 林間広場にて昼食

14:00 展示館前東屋 解散



本観察会は例年GW中の5月3日に開催されておりましたが、近年スミレの時期に遅れてしまう事が多くなってきたため、今年は4月21日に早めての開催となりました。10日程前の下見時には開花が少なめで、今年は桜が遅かったので逆効果か？といった心配も出てきましたが、それもまたお楽しみにすることとして、4/21当日を迎えました。この時期旬なものとして、①丸山からの眺望、②新緑の落葉広葉樹林、③スプリング・エフェメラル（春植物）、④スミレ鑑賞、⑤夏鳥、の5点をピックアップしました。

当日あいにくの曇り空で、①丸山からの眺望は今ひとつに終わりました。②新緑の落葉広葉樹林、③スプリング・エフェメラルは、例年に比べるとやや控えめでしたが、まずまず及第点でした。カタクリ、イカリソウ、ミミガタテンナンショウ、ミツバコンロンソウなど適度に見られ、解説も加えました。樹木に関してはヤマザクラが満開で見事でしたが、青空なら新緑がもっと映えたであろうと惜しまれました。二重丸だったのは、④スミレ鑑賞で、アケボノスミレ、ナガバノスミレサイシン、エイザンスミレ、ヒナスミレなど、白～ピンク～赤紫の花々が早春の樹林内で一際目立って咲いていました。今回はスミレの時期にピントを合わせていたので、その目的は充分達せられたと思われます。その他に、⑤夏鳥は早くもツツドリの声が聞こえてきました。今回は山頂経由のコースでややハードであったかもしれませんが、皆さん楽しみながら無事展示館前まで戻り解散としました。

<今回観察した主な植物、野鳥>

ブナ、イヌブナ、ミズナラ、クリ、ホオノキ、アブラチャン、ヤマザクラ、モミジイチゴ、ザイフリボク、ヒメシャラ、キハダ、ヌルデ、ウリハダカエデ、カジカエデ、チドリノキ、トチノキ、キブシ、ハクウンボク

ハシリドコロ、セントウソウ、タチツボスミレ、エイザンスミレ、ヒナスミレ、ナガバノスミレサイシン、アケボノスミレ、ニッコウネコノメ、ミツバコンロンソウ、イカリソウ、ルイヨウボタン（葉）、ヤマトリカブト（葉）、トウゴクサバノオ、ミヤマエンレイソウ（シロバナエンレイソウ）、カタクリ、ミミガタテンナンショウ、ヒトリシズカ

シジュウカラ、コガラ、ヤマガラの混群、ツツドリ（声）